

東京都職員臨床衛生検査技師会

平成 29 年度 第 1 回業務連絡会 議事録

記録 佐野

日時 2017 年 7 月 26 日 (水) 18 : 45 ~ 19 : 15
場所 大久保病院 5 階会議室
出席者 : 荒井 (荏原) 市川 (広尾) 平野 (大塚) 佐野 (豊島) 小林 (大久保)
小林 (駒込) 森山 (駒込輸病) 石坂 (神経) 野澤 (監察)
今泉 (小児総合) 加藤 (墨東) 笠井 (多摩総合) 貝田 (荏原)
小畑 (大塚) 石川 (広尾) 猪狩 (府中療)

計 16 名

1. 会長挨拶 : 荒井会長

今年 1 年よろしくお願ひします。先の総会において懇親会費が多いと指摘を受けましたので、今年は学術分野に重点を置いた活動をしていきたいと考えています。また、新しい活動にも取り組んでいきたいので、学術分野・組織分野ともに各施設で要望があれば意見を出して欲しいと思います。さらに、会員数を増やしていきたいと考えています。来年 5/31 まで入会可能ですので、ご協力をお願いします。

2. 役員と施設幹事紹介

三役の挨拶および施設幹事の自己紹介

3. 総会報告 : 平野幹事長

H29 年 6 月 22 日 (木) 都庁にて総会が開催された。H28 年度活動報告がなされ、承認された。会場より、項目の名称から内容が分かり難いとの指摘があり、小林会計が次年度からは内容がわかりやすい名称に変更すると回答した。さらに、新人歓迎会での新人職員への図書カード配布について指摘があり、荒井会長が勉学に励んでもらいたいという激励の意味をこめて配布したが、事前に会員への報告をするべきであったと回答した。H29 年度活動方針案の説明があり、承認された。会場より、予算が不足するのではないかとの質問があった。小林会計より、安い会場に設定するなどの努力で予算内執行が可能であると考えているとの回答があった。さらに、次年度の会費が上がるのではないかとの指摘があり、荒井会長が懇親会費を下げることで、および会員増を目指すことで現状の会費を維持したいが、会費値上げの必要性が生じた場合は次回総会の議案として提出すると回答した。名誉会員の推薦、新役員の新推薦がなされ、いずれも承認された。

4. 組織部

森杉副会長欠席のため後日メールにて報告

5. 学術部：市川副会長

1) 今年度活動計画について

学術交流会を10月と1月に開催予定。各回4演題。8月初旬にH28年度学会報告のリストを各施設に送付するので、聞きたい演題を会員1人につき3演題程度選んでもらう。全施設の回答を集計し、多く選ばれた演題の演者に講演を依頼する。場所は都庁を予定しているが、変更の可能性あり。

2) 専門性向上研修について

H29年度第1回・第2回は終了している。今後の研修内容は、第3回は災害、第4回はRCPC、第5回は未定、H30年度第1回は採血、第2回は未定である。参加者は30名程度を想定している。講師の希望があれば市川副会長に連絡すること。

6. その他

1) 会費納入について：小林会計

納入期限は8月31日とするが、年度途中の入会も可。振り込み方法は配布資料参照。

2) 幹事の役割分担

役割分担を決める前に荒井会長より技師会専門部の説明がなされた。組織部は会の広報、会員相互の交流を図る広報委員会と、規約改正等に関わる組織委員会からなり、学術部には専門委員会が置かれているとのことであった。今泉さん（小児総合）と笠井さん（多摩総合）が組織部担当。その他の幹事は平野幹事長が役割分担を決め、後日連絡する。

次回幹事会は、9月メール開催を予定